

# 講義録レポート

講義録コード

04-66-1-201-01

講座	ITストラテジスト	科目①	模試編
目標年	2026年春期合格目標	科目②	公開模試解説
コース	本科生プラス 本科生 科目A-1免除コース	回数	1 回

講師名	西村 太一 講師	内 訳	板書 枚数	1 枚
			補助ビ 枚数	38 枚
			その他	0 枚

講義構成	解説1 (51分) → 解説2 (47分) → 解説3 (48分) → 解説4 (6分)
使用教材	公開模試 科目A-2/B-1/B-2 問題
	公開模試 解答・解説
配付 教材・資料	
備考	

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TAC情報処理講座

情報処理 講義録	コース・講義等	ITストラテジスト	科目	公開模試解説	回数
----------	---------	-----------	----	--------	----

配布物	★テスト類 : [ ]	講師	西村 先生
	★その他の配布物1 : [ ]		
	★その他の配布物2 : [ ]		

黒板内容
<p>2026 ITストラテジスト対策 模試解説</p> <hr/> <p>・科目 A-2 …… 問1~10          ・ " B-1 …… 問1          ・ " B-2 …… 問1 (設1)</p> <p>ラスト1Wの対策スケジュール</p> <p>月: 科目A対策 問題演習 <u>50題以上</u>          火: " "          水: 科目B-1対策 45分解く → 1時間検討 × <u>2題以上</u>          木: " 45分解く → 30分検討 × <u>3題以上</u>          金: 科目B-2対策 論文例 5本以上読む          土: " 論文1本作成. 余裕があれば"もう1本</p> <p style="text-align: center;">徹夜厳禁! 前日はゆっくり寝る!</p>

## 2026 ITストラテジスト 模試解説

### 2026 ITストラテジスト対策 模試解説

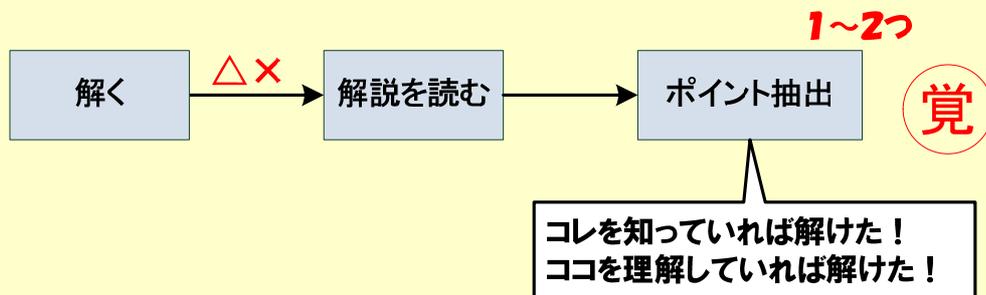
---

- ・科目A-2解説 … 問1～10
- ・科目B-1解説 … 問1
- ・科目B-2解説 … 問1(設問イ)

### 科目A-2対策の要点

#### 科目A-2対策

→ 知識を増やす → 問題演習中心



## 問1

問1 システム開発において、**マイクロサービスアーキテクチャ**を採用する企業が増えている。マイクロサービスアーキテクチャの運用上の課題として、適切なものはどれか。

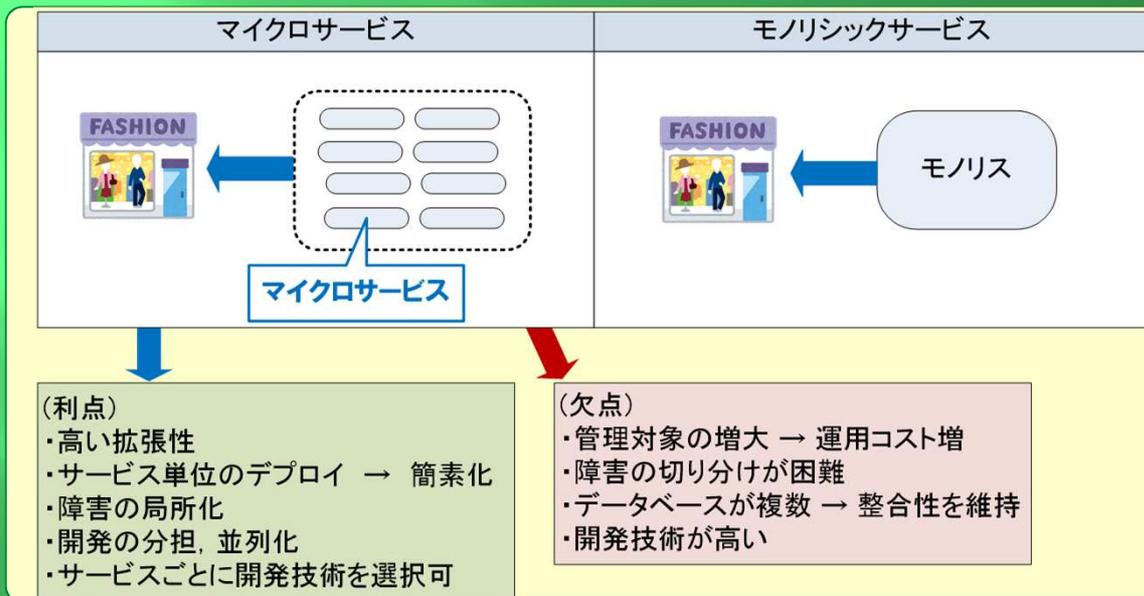
ア 開発チームが独立してサービスを開発・デプロイできるため、開発スピードが  
~~低下する。~~ **速い**

イ 共通のプログラミング言語とフレームワークの使用が必須となるため、技術選  
択の自由度が低い。 ~~×~~ **サービスごとに選択可**

ウ 冗長化や性能向上が**困難である。** **容易**

**エ** マイクロサービス間の依存関係が複雑化し、障害発生時の原因特定や全体状況  
の把握が困難である。 **覚**

## マイクロサービスアーキテクチャ



## 問2

問2 DFFT(Data Free Flow with Trust)の概念として、最も適切なものはどれか。

- ア 全てのデータを匿名化することで、プライバシー保護の懸念を解消する。
- イ データの国際的な流通を制限し、各国のプライバシー保護を強化する。
- ウ データの国際的な流通を促進しつつ、個人情報保護やセキュリティなどの課題に対応する。
- エ 特定の国や地域間でのみデータのやり取りを許可する固有のプロトコルを構築する。

## DFFT

覚

DFFT(Data Free Flow with Trust : 信頼性のある自由なデータ流通)とは、“プライバシーやセキュリティ、知的財産権に関する信頼を確保しながら、ビジネスや社会課題の解決に有益なデータが国境を意識することなく自由に行き来する、国際的に自由なデータ流通の促進を目指す”という考え方である。

ア

エ

イ

### 問3

問3 **認知バイアス**の説明はどれか。

ア AIが自分自身で思考するようになって人間の知能を超え、人間の生活に大きな変化が起こるといふ仮説である。

イ 経験や思い込みによって一貫性や合理性に欠けた判断をする現象である。 **覚**

ウ 生成AIが事実に基づかないそれらしい誤った情報を生成する現象である。

エ 統計分析の結果が、正しい状況からずれて偏っている現象である。 **ハルシネーション**

**統計的バイアス**

### 問4

問4 **組込み型金融(エンベデッドファイナンス)**の概念として、最も適切なものはどれか。

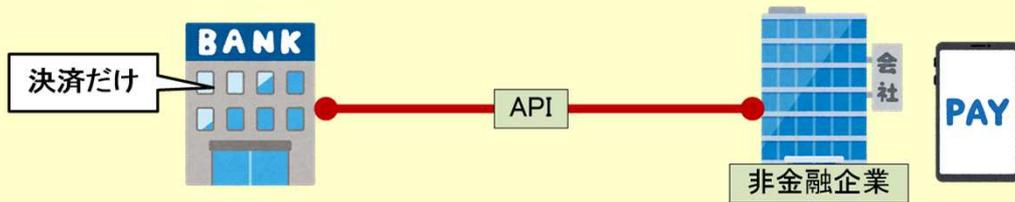
ア 金融機関が自社の金融サービスを、外部の非金融事業者を通じて提供する。

イ 金融機関が自社のシステムに、他社の金融サービスを統合して提供する。

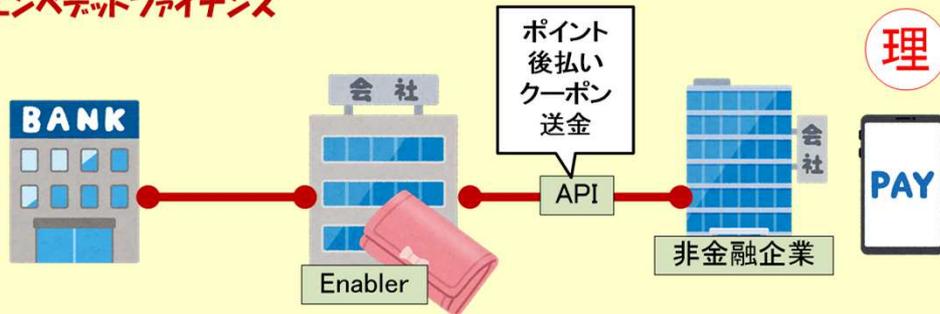
ウ 全ての金融サービスを、金融機関同士が連携して提供する。

エ 非金融事業者が、自社のサービスやプラットフォームに金融機能を統合して提供する。

## エンベデッドファイナンス



### エンベデッドファイナンス



## 問5

問5 システム化構想の段階で、ビジネスモデルを整理したり、分析したりする場合に有効なフレームワークの一つである **ビジネスモデルキャンパス** の説明として、適切なものはどれか。

## ビジネスモデルキャンバス

ビジネスモデルキャンバス: **ビジネスモデルを可視化するフレームワーク** **覚**



## 問5 選択肢

ア 事業活動を，顧客に提供する製品やサービスに価値を付加していく活動の連鎖として捉えたもの  
**バリューチェーン**

イ 事業戦略を，製品と市場の2軸に置き，さらに既存と新規に分けて，市場浸透，市場拡大，製品開発，多角化という四つのタイプに分類し，事業の方向性を分析するもの  
**アンソフの成長マトリクス**

ウ 市場成長率と市場占有率の二つによって，製品の市場での位置づけを評価し，その製品への最適な投資配分を分析・決定するもの **PPM**

**エ** ビジネスの核となる要素を九つに分け，構築すべきビジネスモデルを視覚的に捉えることができるもの

## 問6

問6 **顧客体験価値 (CX : Customer Experience)**の向上を図るための施策として、適切なものはどれか。

**感情的・心理的な価値** **覚**

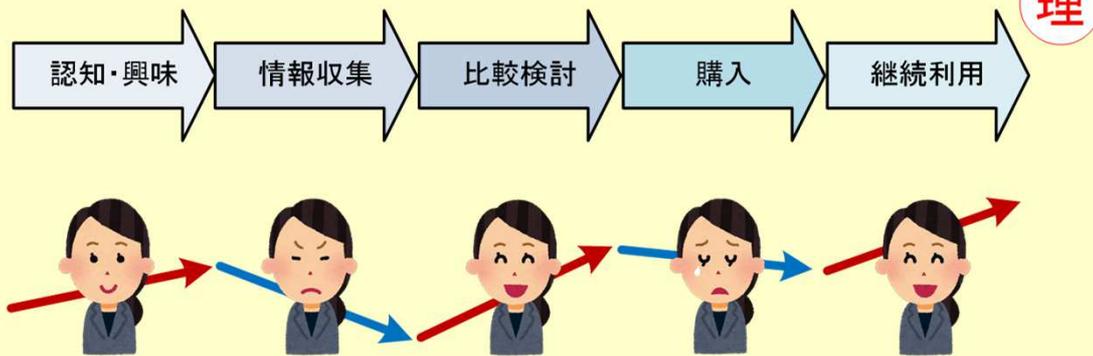
- ア** カスタマージャーニーマップの作成      イ サプライチェーンの最適化  
ウ 製品ライフサイクルの管理              エ バランススコアカードの導入

## 顧客体験価値 (CX)



## カスタマージャーニー

カスタマージャーニーマップ ... 顧客が製品やサービスに触れる一連のプロセスにおいて、想定顧客(ペルソナ)の考え、行動、感情を分析



## 問7

問7 競争戦略のうち、他社製品にはない自社製品の魅力的な独自性をアピールして競争優位性を獲得する戦略はどれか。

ア コストリーダーシップ戦略

イ 差別化戦略

ウ 集中戦略

エ ニッチャー

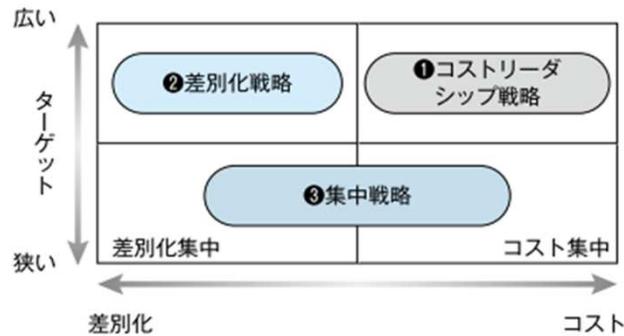
## ポーターの競争戦略

### ！ポイントテーマ ポーターの競争戦略

p.83

企業は、競争要因を把握した上で基本となる競争戦略を策定する。ポーターは基本戦略をコストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中（ニッチ）戦略の三つに分類した。

ポーターの基本戦略は次のとおりである。



覚

## 問8

問8 コトラーが提唱するマーケティング5.0における拡張マーケティングの説明として、適切なものはどれか。

ア 顧客が閲覧しているWebページやコンテンツの文脈を分析し、その内容に合った広告を配信するマーケティング手法である。

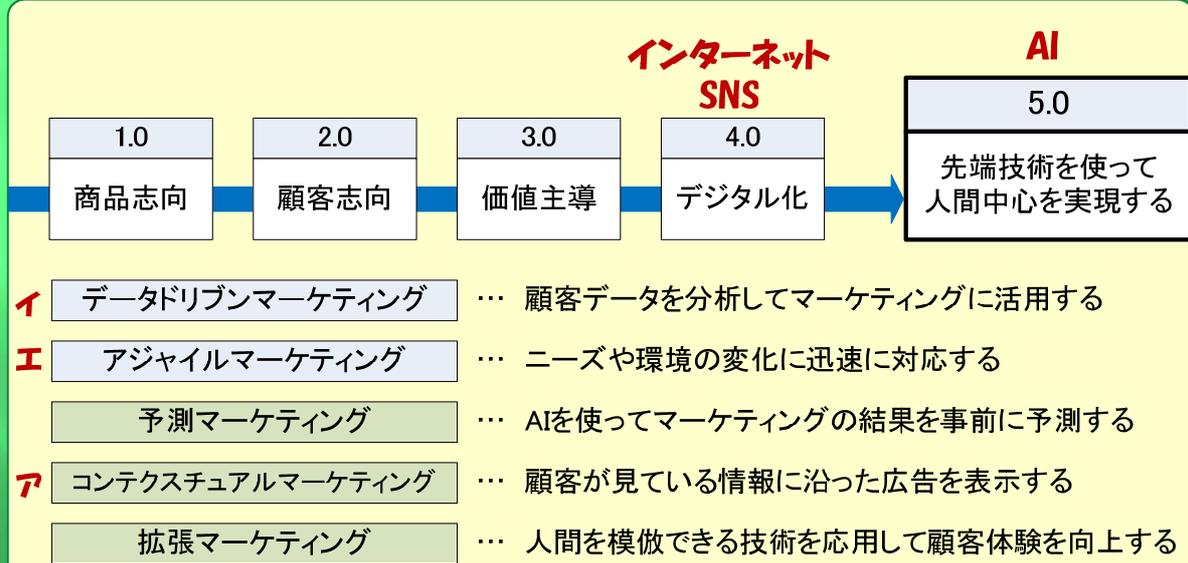
イ 顧客データに基づいてマーケティング戦略の立案を行う手法である。

ウ チャットボットやバーチャル店員など、人間を模倣できる技術を活用してマーケティング業務の生産性を高め、顧客体験価値を向上させる手法である。

エ 変化の激しい市場やビジネス環境に対応して試行錯誤を迅速に繰り返す、効果的なマーケティング活動を行う手法である。

覚

## マーケティング5.0



## 問9

問9 アドエクスチェンジの仕組みの説明として、適切なものはどれか。

### 広告の差し替え → リアルタイム

ア 検索エンジンでユーザーが検索したキーワードと広告主が設定したキーワードとを対応させて、検索結果画面に広告を表示する。 **検索連動型広告**

イ 広告掲載媒体主が広告枠を固定価格で広告主に販売する。 **リアルタイム入札**

ウ 広告主と広告掲載媒体主が直接取り引きして、広告枠を売買する。

**エ** 複数の広告主の広告在庫と複数の広告掲載媒体主の広告枠在庫を、リアルタイム入札によって自動的にマッチングさせる。 **覚**

## 問10

問10 業務改革では従業員の抵抗にあうことがある。アドラー心理学において、このような抵抗を乗り越えるために重要であると考えていることとして、最も適切なものはどれか。

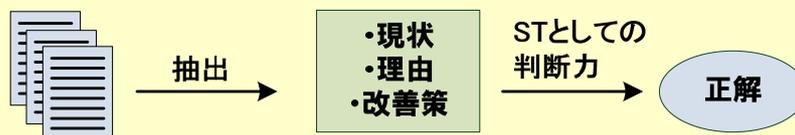
- ア 過去の失敗を繰り返さないよう、抵抗する従業員に対して厳格な目標設定とペナルティを課す。
- イ 業務改革の推進者と従業員の間で、課題の分離を徹底し、互いの領域に干渉しないようにする。
- ウ 従業員が業務改革の目的を理解し、自身の業務が組織全体に貢献できると感じられるようにする。 **覚**
- エ 従業員のスキルや知識における劣等感を指摘し、それを解消するための具体的な研修計画を提示する。

## 科目B-1対策の要点

### 科目B-1対策

解き慣れる → 問題演習中心

**正解の根拠は問題文にある！**



- ① 線を引きながら問題文を読む → 悪いこと探し
- ② キーワードをたどってヒントを探す → 3段跳び

## 3段跳び法の要点

### 3段跳び法



## 問1を解いてみましょう

問1を選択しなかった人  
→ 動画をいったん止めて問1を解いてみる



## 三段跳び ～設問のチェック事項

### 設問でチェックする事項

- **Key** ……設問を特徴付けるワードやフレーズ
- **要求事項** ……解答しなければならない事項
- **参照指示** ……参照が指定された問題文ブロック
- **その他ヒント** ……解答にあたっての条件や注意事項

## 設問1(1) ①

### 参照指示

設問1 [A社の戦略]について答えよ。

(1) A社がB県にメッシュネットワークを利用したサービスを提供することで

**Key** 被災者支援に貢献できると考えたのは、メッシュネットワークのどのような機能を活用できると考えたからか。30字以内で答えよ。 **要求事項**

通信経路に障害が発生しても動的にネットワークを維持できる機能

## 設問1(1) ②

[A社の戦略]

p.3  
下から  
9行目

……B県は、河川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害が発生しやすい地形であり、局所的に降り続いた大雨によって土砂崩れで道路と共に通信経路が複数切断され、被災した市町村とのネットワークが切断されたことがあった。その結果、

**原因**

B県は被災状況の把握が困難になり、被災者の安否確認や被災地に必要な支援物資を配給するための情報伝達が遅れ、被災者支援に支障が出た。特に、被災した病院の患者の情報共有が遅れたことで、被災者の健康状態の悪化を招いていた。

**理由**

このような被災状況を踏まえ、A社は、B県にメッシュネットワークを利用したサービスを提供できていれば、その被災者支援に大きく貢献できたと考えている。

Hop

## 設問1(1) ③

p.3  
6行目

メッシュネットワークとは、多数のノード(デバイスやコンピュータなど)をメッシュ(網)状に接続したネットワークである。隣同士のノードが相互に通信し、最適な通信経路を探索しながら情報を伝送するので、ノード間の通信が切断されても自律的に他のノードと通信することでネットワークを維持できる。つまり、通信経路に障害が発生しても動的にネットワークを維持できる機能がある。

## 設問1 (2) ①

設問1 [A社の戦略]について答えよ。

Key

(2) A社が災害時の公共サービスとして病院や医療関係者への情報伝達を挙げているのは、災害時に生じるどのような課題に対処するためか。20字以内で答えよ。

要求事項

悪いコト(の改善)

例:利益が落ちた → 課題:利益の回復

被災者の健康状態の悪化を防ぐ

## 設問1 (2) ②

[A社の戦略]

p.4  
2行目

……メッシュネットワークで災害データを収集、災害情報データベースに情報を蓄積して分析し、必要な施設にはタイムリーに情報を配信する基盤を構築することで、災害場所の特定、警報の発信や伝達、避難経路の探索、避難所の利用状況確認、病院や医療関係者への情報伝達を、災害時の公共サービスとして提供する。

Hop

## 設問1(2) ③

〔A社の戦略〕

p.3  
下から  
7行目

……被災した市町村とのネットワークが切断されたことがあった。その結果、B県は被災状況の把握が困難になり、被災者の安否確認や被災地に必要な支援物資を配給するための情報伝達が遅れ、被災者支援に支障が出た。特に、被災した病院の患者の情報共有が遅れたことで、被災者の健康状態の悪化を招いていた。

情報伝達が原因で

悪いコトが起きた

## 設問1(3) ①

設問1〔A社の戦略〕について答えよ。 **Key**

(3) A社がB県に災害対応支援サービスを提案することにしたのは、B県がどのような状況であると考えたからか。25字以内で答えよ。

**要求事項**

災害時の通信経路の問題が顕在化している状況

## 設問1(3) ②

〔A社のメッシュネットワーク技術の特徴〕

……

p.5  
2行目

これらを踏まえ、A社はB県に、災害対応支援サービスを目的としたメッシュネットワークシステムの導入を提案した。提案内容は……

B県の状況

## 設問1(3) ③

〔A社の戦略〕

p.3  
下から  
9行目

……B県は、河川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害が発生しやすい地形であり、局所的に降り続いた大雨によって土砂崩れで道路と共に通信経路が複数切断され、被災した市町村とのネットワークが切断されたことがあった。その結果、B県は被災状況の把握が困難になり、被災者の安否確認や被災地に必要な支援物資を配給するための情報伝達が遅れ、被災者支援に支障が出た。特に、被災した病院の患者の情報共有が遅れたことで、被災者の健康状態の悪化を招いていた。



## 設問2(1) ①

### 参照指示

設問2 [A社のメッシュネットワーク技術の特徴]について答えよ。

(1) 本文中の  に入る適切な字句を、漢字2字で答えよ。

Key

可用

## 設問2(1) ②

[A社のメッシュネットワーク技術の特徴]

.....

p.4  
下から  
11行目

A社は有線と無線の特徴を踏まえ、A社のメッシュネットワーク技術では、ノード間の通信に、有線WAN、Wi-Fi、衛星通信を利用している。これらを組み合わせることにより、通信が切断されることが少なくなり、必要な時に使用できるという高い  性を実現している。

## 設問2(2) ①

設問2 [A社のメッシュネットワーク技術の特徴]について答えよ。

(2) B県には、メッシュネットワークの構築において衛星通信の活用が望ましい特徴がある。どのような特徴か。30字以内で答えよ

Key

要求事項

河川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害が発生しやすい地形

## 設問2(2) ②

p.4  
13行目

[A社のメッシュネットワーク技術の特徴]

メッシュネットワークのノード間の通信には、有線と無線がある。有線によるメッシュネットワークは、通信の安定性は高いが、山間部や森林などへの機器の設置やケーブルの敷設は難しいことがある。また、風雪などの外的要因によるケーブルの劣化や破損で、通信が切断されるリスクもある。それに対して、無線によるメッシュネットワークはこれらの問題を回避できる。しかし、電波干渉や障害物による減衰・遮蔽などの影響を受けやすく、通信が切断されるリスクもある。

通信の特徴

A社は有線と無線の特徴を踏まえ、A社のメッシュネットワーク技術では、ノード間の通信に、有線WAN、Wi-Fi、衛星通信を利用している。これらを組み合わせる……

## 設問2(2) ③

外的要因

〔A社の戦略〕

p.3  
下から  
9行目

……B県は、河川の氾濫や土砂崩れなどの自然災害が発生しやすい地形であり、局所的に降り続いた大雨によって土砂崩れで道路と共に通信経路が複数切断され、被災した市町村とのネットワークが切断されたことがあった。

## 設問2(3) ①

設問2 〔A社のメッシュネットワーク技術の特徴〕について答えよ。 **Key**

(3) A社は災害対応支援において専用ノードに機器を接続して情報収集できるようにした。その狙いが直接対応する災害時の公共サービス名を二つ挙げ、それぞれ15字以内で答えよ。なお、災害時の公共サービス名には、本文中の字句を用いること。

- ① 災害場所の特定
- ② 避難所の利用状況確認

## 設問2(3) ②

〔A社のメッシュネットワーク技術の特徴〕

……

p.4  
下から  
7行目

また、A社ではメッシュネットワークを構成するノードにセンサーなどの機器を接続することができようにしたノード（以下、専用ノードという）を、自社で開発している。

その専用ノードから、接続した機器で取得した情報をリアルタイムで送信できる。例えば、

- ① 河川やダムに設置したノードに水位センサーを接続すれば、災害場所の特定ができる。
- ② 避難所に設置したノードにカメラや人感センサーを接続すれば、避難所の様子や人の動きなどを把握できる。情報表示用のデジタルサインを接続した専用ノードを市街地に設置すれば、そこから災害警報や各種の情報発信ができる。

発信

## 設問3(1) ①

設問3 〔B県の要望〕について答えよ。

- (1) 本文中の下線①について、A社はメッシュネットワークを平常時にも有効活用できる機能を提案した。提案した機能を、本文中の字句を用いて20字以内で答えよ。また、提案した理由を25字以内で答えよ。

要求事項

(機能) 自治体からの広報の表示

(理由) 市街地にデジタルサインが設置されているから

### 設問3(1) ②

p.5  
7行目

#### 〔B県の要望〕

A社からの提案を受けて、B県は、A社パッケージの機能を検討することにした。B県は、過去の被災経験から、市街地にデジタルサイネージを設置し、様々な情報を発信している。災害対応支援の中でも被災者支援を中心としたA社の提案は、B県の考える災害対策と近いことが分かった。そこで、A社パッケージを導入することにした。

ただし、A社パッケージに含まれる機能を全て採用すると、費用の総額は大きくなるので、災害時だけでなく平常時にもメッシュネットワークを有効活用することで、費用対効果を上げようと考え、B県は次のような機能の追加を、A社に要望した。

### 設問3(1) ③

#### B県の取り組み



#### 要望

- ・自治体からの広報の表示
- ・高齢者の見守り
- ・交通量の監視
- ・ICカードによる各種申請手続き
- ・橋梁や建造物の老朽化による変形の検知



### 設問3(1) ④

#### メッシュネットワークシステム

p.5  
下から  
4行目

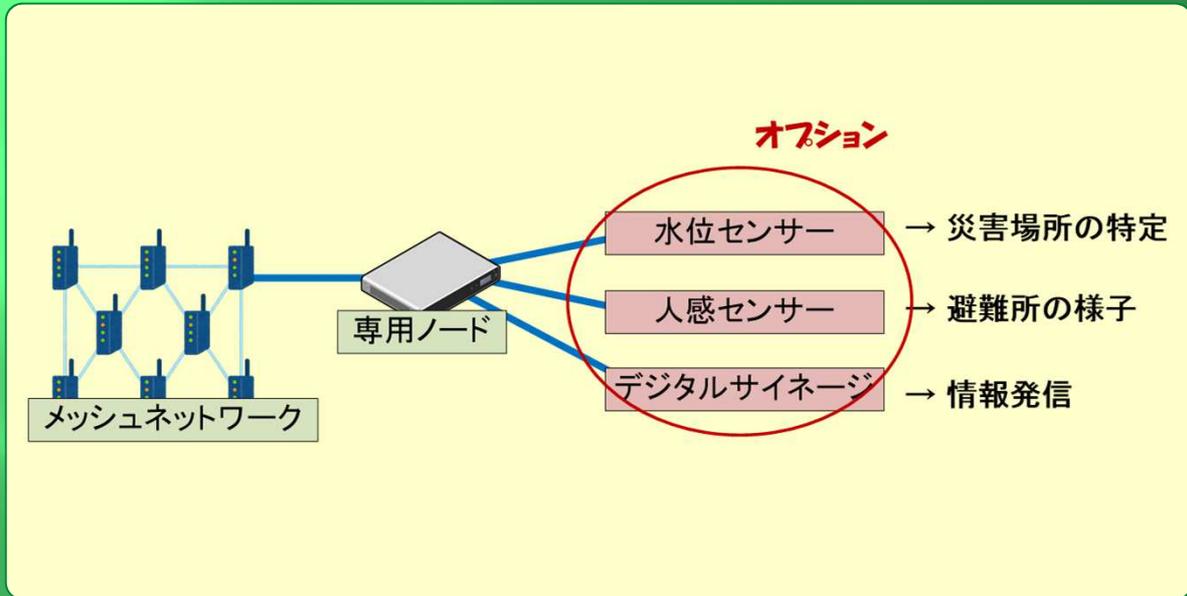
A社はB県の要望を受け、①システムの機器構成を追加しなくても実現できる機能を提案することにした。そして、今後の事業展開を踏まえてB県の要望にはなかったものの、②人感センサーを活用した保育施設送迎バス内の児童置き去り防止機能も提案に含めることとした。

### 設問3(1) ⑤

p.4  
下から  
7行目

また、A社ではメッシュネットワークを構成するノードにセンサーなどの機器を接続することができようにしたノード(以下、専用ノードという)を、自社で開発している。その専用ノードから、接続した機器で取得した情報をリアルタイムで送信できる。例えば、河川やダムに設置したノードに水位センサーを接続すれば、災害場所の特定ができる。避難所に設置したノードにカメラや人感センサーを接続すれば、避難所の様子や人の動きなどを把握できる。情報表示用のデジタルサイネージを接続した専用ノードを市街地に設置すれば、そこから災害警報や各種の情報発信ができる。

### 設問3(1) ⑥



### 設問3(2) ①

設問3 [B県の要望]について答えよ。

(2) 本文中の 下線② について、A社がB県の 要望にない機能の追加を提案する狙い は何か。35字以内で答えよ。

**要求事項**

メッシュネットワークの導入効果を高める活用事例とする狙い

### 設問3(2) ②

p.5  
下から  
4行目

A社はB県の要望を受け、①システムの機器構成を追加しなくても実現できる機能を提案することにした。そして、今後の事業展開を踏まえてB県の要望にはなかったものの、②人感センサーを活用した保育施設送迎バス内の児童置き去り防止機能も提案に含めることとした。

### 設問3(2) ③



## 科目B-2対策の要点

### 科目B-2対策

- ・問題と解答例を読む → ネタ集め ×丸暗記
- ・書く練習 → 合格条件を満たす論文

設 AとB  
A:○ B:○  
× A:◎ B:-

設問の要求事項を漏らさず書く

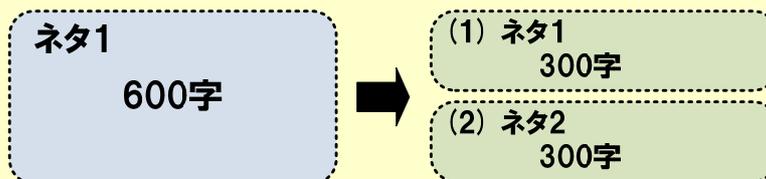
- ① 設問, 要求事項によって, 章と節に分ける(章立て)
- ② 節の中でもユニットに分ける

## 章立てとユニット分け

### ① 章立て



### ② ユニット分け → 一つの節を複数ユニットに分ける



## 問1を考えてみる

問1を選択しなかった人

→ 動画を15分位止めて、問1について  
自分ならどう論述するか、考えて見る



## 問1の全体像

問1 システムリスクに対応するためのシステム構築方針の策定について

設問ア あなたが携わったシステム構築方針の策定の背景にある、事業概要と事業特性、環境の変化、事業への影響を、400字以上800字以内で述べよ。

設問イ 設問アを踏まえ、あなたが策定したシステム構築方針、想定したリスク、方針策定に当たって検討した内容と、あなたが特に重要と考えて工夫したことを、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたシステム構築方針について、あなたが行った情報システム部門との協議の内容、経営層への説明の内容、さらに経営層の評価と指摘を受けて改善したことを、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。

## 第1章の論述例 ①

### 第1章 システム構築方針の策定の背景

#### 1. 1 事業概要と事業特性

私は、中堅の生産機械メーカーに勤務するITストラテジストである。私が携わったのは、リスクアセスメントを必須とするシステム構築方針の策定である。

当社は、自動車業界や食品業界などの業界向けに、生産機械を製造・販売している。全国5か所の工場と、各地に営業拠点がある。多様な生産機械を扱うことから、販売先は数百社、部品や材料の仕入先は千社を超える規模となっており、取引先が非常に多いのが特徴である。

200字

## 第1章の論述例 ②

#### 1. 2 環境の変化

近年、材料や人件費の高騰が続いており、事業構造の改善が急務となっている。また、IT関連の環境についても、IT技術の進展やクラウド環境への移行、顧客や販売先とのデータ連携などが進んでおり、経営層からもDXの推進が重点施策として指示されている。さらに、最近同業他社では基幹システムがランサムウェアによるサイバー攻撃を受けて事業が停止するという事案が発生し、外部からの脅威は増加している。

400字

### 第1章の論述例 ③

#### 1. 3 事業への影響

環境の変化は当社の事業に次のような影響がある。

① IT技術の進展 … 当社の情報システムは多くが10年以上前から稼働しており、情報システム部では現行システムの保守作業が多く、近年のIT技術に追いついていない。最新のIT技術の導入が必要である。

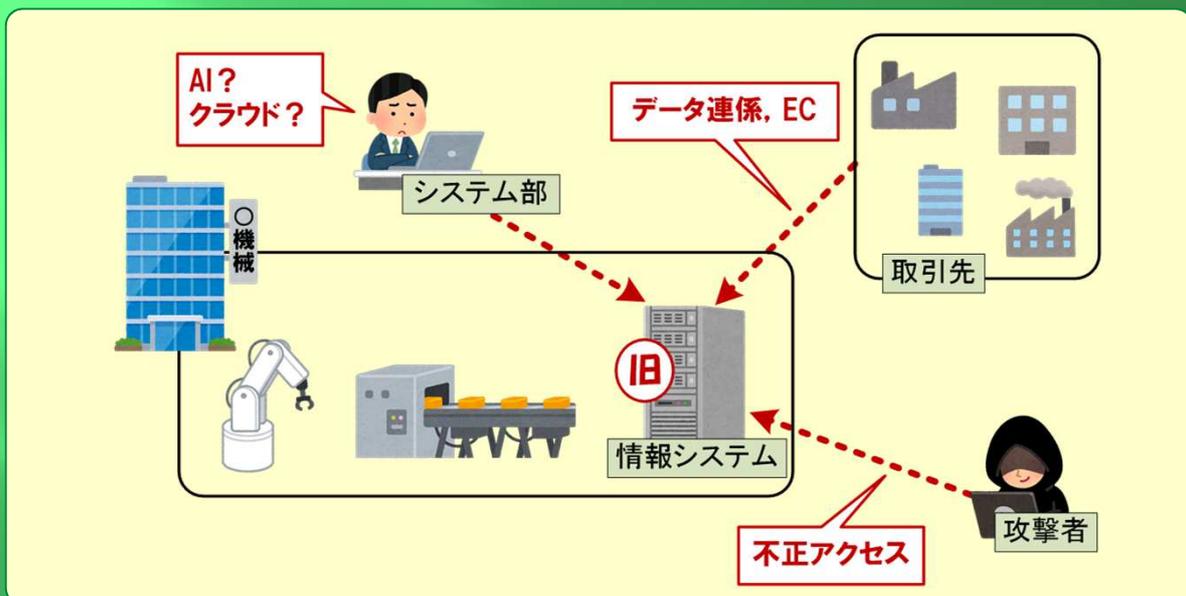
600字

② 外部との連携強化 … 当社の取引先のシステムも次々に新しくなり、それら取引先からはデータ連携による取引情報の授受を要請されており、それに対応するシステムの構築が必要である。

③ 外部からの脅威の増加 … 外部からの不正アクセスやサイバー攻撃の増加に対応して、社内システムにおける十分なセキュリティ対策が必要である。

800字

### 第1章の論述例 ④



## 設問イ

設問イ 設問アを踏まえ、あなたが**2.1**策定したシステム構築方針、**2.2**想定したリスク方針策定に当たって検討した内容**2.3**と、あなたが特に**2.4**重要と考える工夫したことを、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

第2章

## 論述の構想

### 第2章 システム構築方針の策定

- 2.1 策定したシステム構築方針 ~~300~~字 200字
- 2.2 想定したリスク ~~300~~字 200字×2ユニット
- 2.3 方針策定にあたって検討した内容 300字
- 2.4 重要と考え工夫したこと 300字

## ネタ出し ①

### 第2章 システム化方針の策定

#### 2.1 策定したシステム構築方針

#### 2.2 想定したリスク

#### 2.3 方針策定にあたって検討した内容

#### 2.4 重要と考え工夫した内容

#### ・リスクアセスメントの実施

→ 先にリスクを洗い出し, 評価, 対応

#### ・セキュリティ・バイ・デザイン

→ 設計段階でセキュリティ対策を組み込む

#### ・冗長性や可用性の確保, 運用体制の整備

→ ビジネス環境の変化に柔軟に対応する設計

→ 技術, 運用の両面で可用性確保

・設計の経験不足 → 設計内容の不備

・データ関係の失敗 → 受発注のトラブル

・セキュリティの経験不足 → 情報漏えい

## ネタ出し ②

このようなリスクの発生に対処するためには、発生時に対応を考えるだけでなく、あらかじめリスクを想定した上で、それに対応するためのシステム構築方針を策定しておくことが重要である。例えば、次のようなものが考えられる。

・リスクアセスメントの実施

・セキュリティ・バイ・デザインの導入

・冗長性や可用性の確保, 運用体制の整備

・適切な品質基準の設定と評価

## ネタ出し ③

### 第2章 システム化方針の策定

#### 2.1 策定したシステム構築方針

#### 2.2 想定したリスク

#### 2.3 方針策定にあたって検討した内容

#### 2.4 重要と考え工夫した内容

×検討 → リスク対策

○検討 → システム構築方針

リスクは多岐にわたる, 派生リスクも多い

→ 個別に対応するのは非効率

→ 洗い出し, 評価, 優先順位

リスクアセスメントの実施

・リスクアセスメントの手順を明確化する

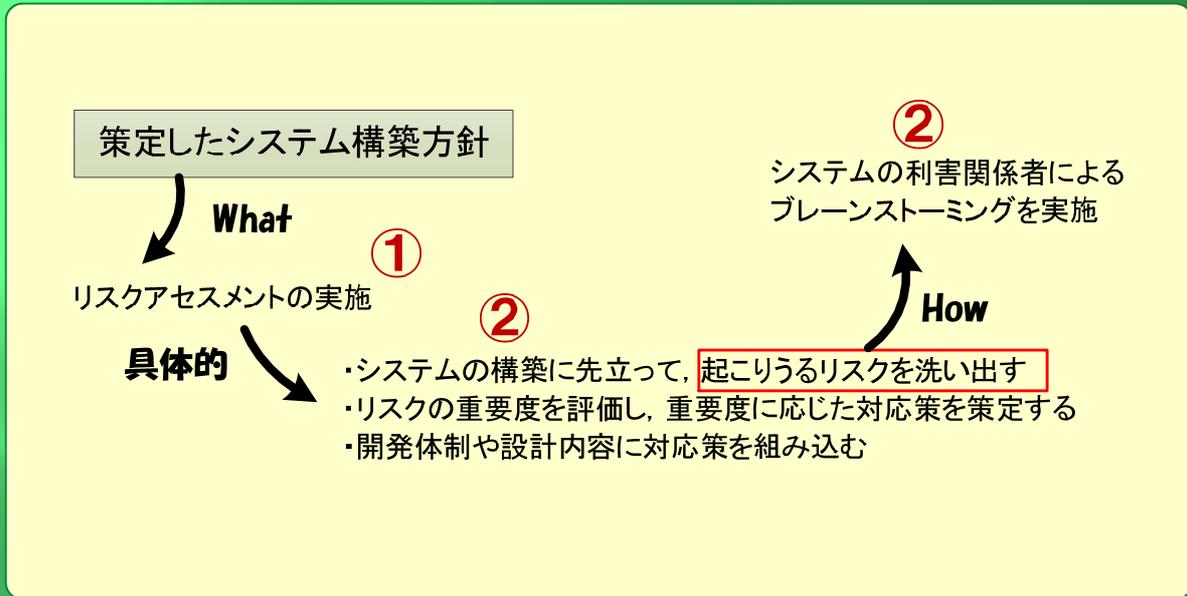
・対応策を具体的に策定する

## 論述の切り口

### 論述の切り口(自由展開法)



## 展開 ①



## 論述 ①

### 第2章 システム構築方針の策定

#### 2.1 策定したシステム構築方針

第1章で述べた背景を踏まえ、私は新システムの開発にあたってリスクアセスメントを実施する構築方針を決定した。具体的には、システムの構築に先立って、システムの利害関係者によるブレインストーミングを実施して起こりうるリスクを洗い出し、各リスクの重要度を評価し、重要度に応じた対応策を策定した上で、開発体制や設計内容に対応策を組み込むことでリスクの回避・低減を図るものである。

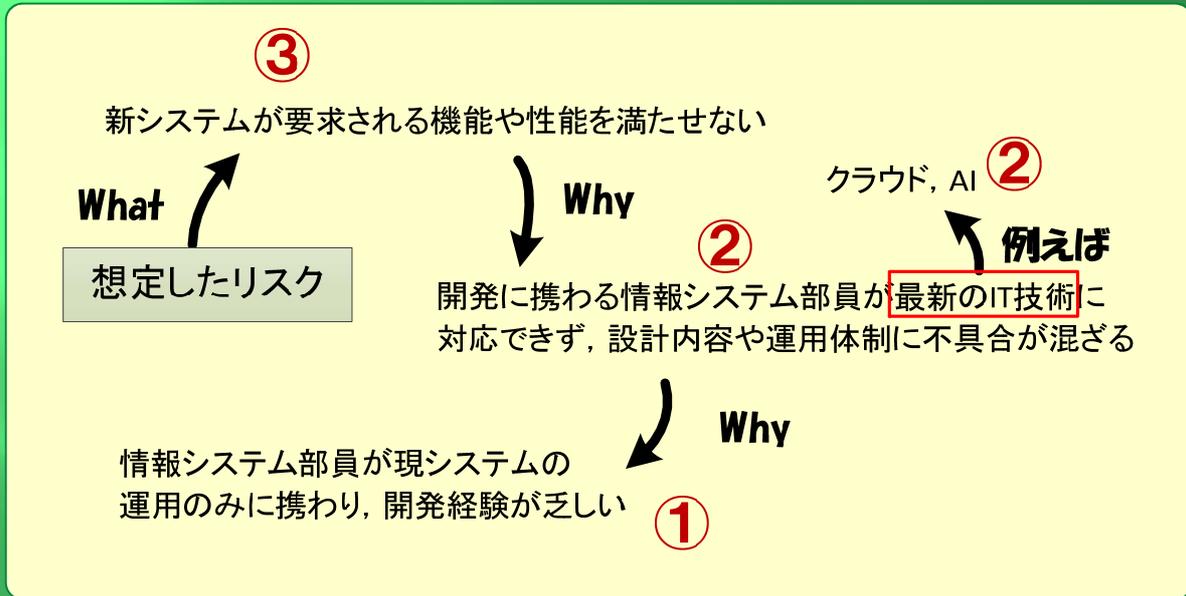
#### 注意!

理由(Why)は2.3節で述べる

#### 字数

213字  
2.2節で頑張る

## 展開 ②



## 論述 ②

### 2.2 想定したリスク

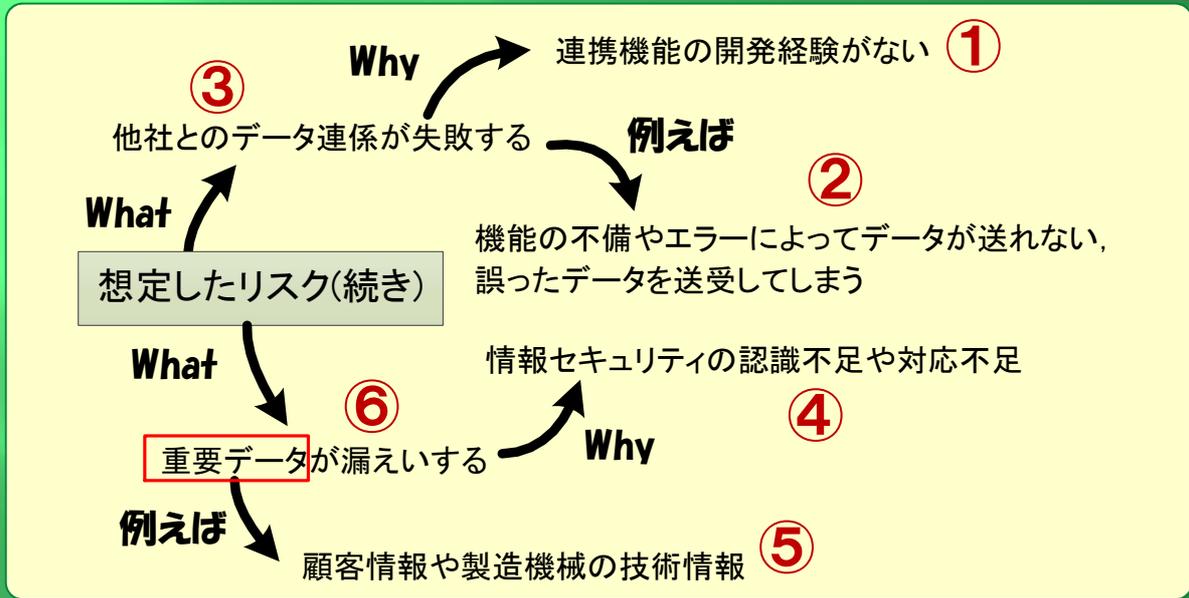
#### (1) 新システムが要求される機能や性能を満たせない

新システムの開発において主力を担う情報システム部員は、専ら現システムの運用のみに携わっており、開発経験が乏しい。そのため、クラウドやAIなどの最新のIT技術に対応できず、設計内容や運用体制に不具合が混ざる可能性がある。結果として、新システムが要求される機能や性能を満たせないリスクがあると想定した。

**GOOD!**

複数のリスクがある場合は、それぞれユニットに分けて論述すると簡単！

### 展開 ③



### 論述 ③

#### (2) 他社とのデータ連携が失敗する

データ連携は多くの顧客から望まれている機能であるが、(1)と同じ理由で情報システム部員にはデータ連携機能の開発経験がない。そのため、例えば機能の不備やエラーによってデータが送信できない、誤ったデータを送受してしまうなど、他社とのデータ連携が失敗するリスクがあると想定した。

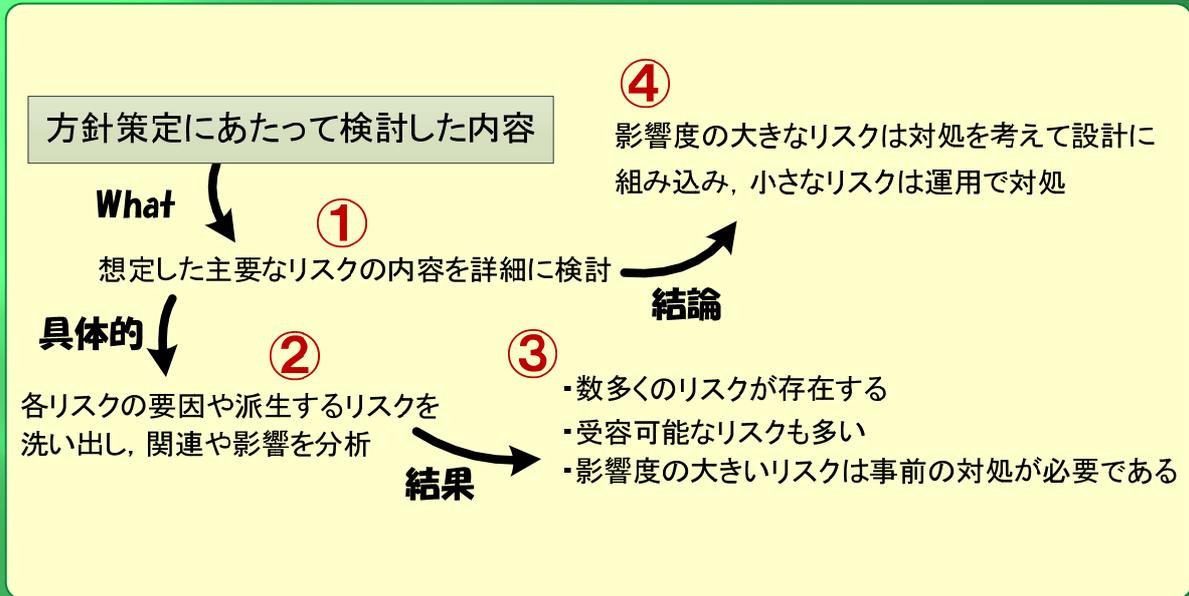
#### (3) 重要データの漏えい・改ざん

情報システムに求められるセキュリティは、近年ますます高度化しているが、そのような情報セキュリティの認識不足や対応不足により、例えば顧客情報や製造機械の技術情報が流出するなど、重要データが漏えいするリスクがあると想定した。

字数

463字  
頑張った！

## 展開 ④



## 論述 ④

### 2.3 方針策定にあたって検討した内容

システム構築方針の策定にあたり、私はまず主要なリスクについて、その内容を詳細に検討した。具体的には、各リスクの要因や派生するリスクを洗い出し、その関連や影響を分析した。結果として、

- ・派生リスクも含めると、数多くのリスクが存在する
- ・影響度の大きいリスクは限られており、受容可能なものも多い
- ・影響度の大きいリスクは事前の対応が必要である

ことが判明した。

このような特性を踏まえた上で、新システムの構築にあたっては、事前に対象領域のリスクを洗い出した上で、影響度が大きいリスクへの対応を設計に組み入れつつ、影響度が小さいリスクは運用で対応できるよう体制を整えることが現実的だと判断した。

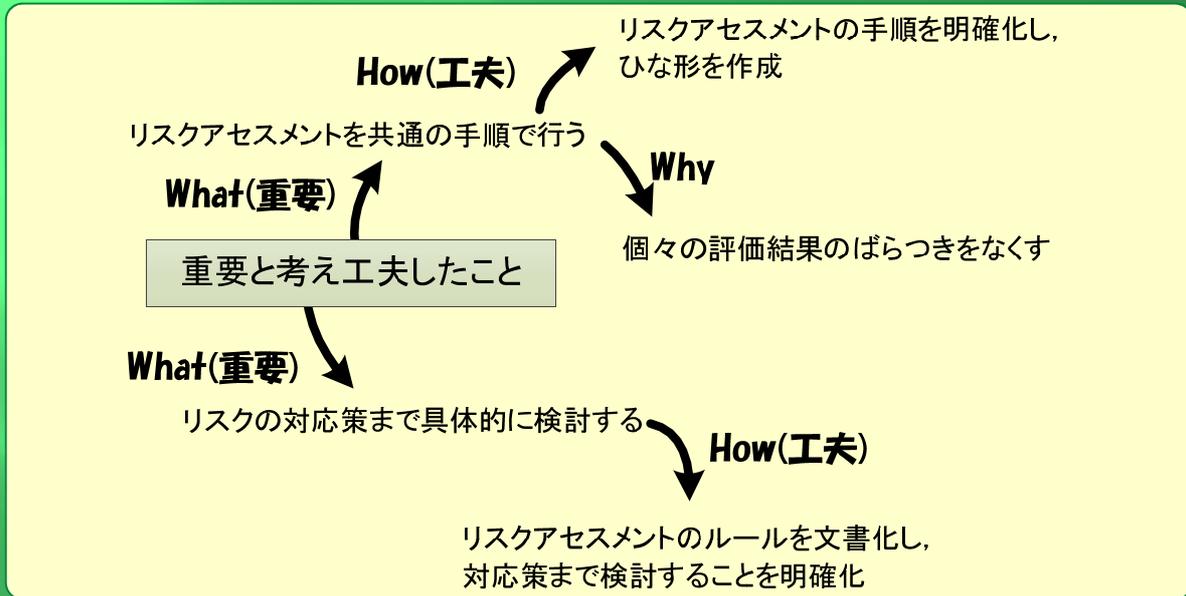
#### 注意

部分的に箇条書きをいれても良い。ただし、箇条書きに終始しないこと。

#### 文字数

307字  
2.3節までの合計は983字。  
2.4はさらっと

## 展開 ⑤



## 論述 ⑤

### 2.4 重要と考え工夫したこと

リスクアセスメントの実施にあたり、私は個々の評価結果のばらつきをなくすためリスクアセスメントを共通の手順で行うことが重要だと考えた。そこで私は、リスクアセスメントの手順を明確にしたうえで、ひな形を作成するよう工夫した。

さらに、リスクアセスメントでは対応策まで具体的に検討することが重要である。これを確実にを行うため、私はリスクアセスメントのルールを文書化し、対応策まで検討することを明確化するよう工夫した。

#### 文字数

216字  
2.1～2.4で合計1200字を超えた。  
十分すぎるレベル

## お疲れ様でした

### ラスト1Wの対策スケジュール

月: 科目A対策 問題演習50題以上

火: //

水: 科目B-1対策 45分解く→1時間検討 × 2題以上

木: 科目B-1対策 45分解く→30分解説 × 3題以上

金: 科目B-2対策 論文例を5本以上読む

土: 科目B-2対策 論文を1本作成, 余裕があればもう1本



**徹夜厳禁!**  
**前日はゆっくり寝る**

